

オカダアイヨン

適用範囲		型 式		OSC-160GMA	OSC-160GMA	OSC-250GMA	OSC-250GMA
		質 量 kg		2, 220	2, 220	2, 500	2500
				～M16C036	M16C037～	～M25B017	M25B018～
		取付可能機体質量（単位 t）		18～25	18～25	18～25	18～25
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検 査 基 準 値			
油圧装置	シリンダー (図 1-14 参照)	開閉シリンダー					
		伸縮量（ ）	mm	30	30	30	30
		測定時間	分	3	3	3	3
圧砕・切断部	カッター (図 1-15 参照)	カッターの隙間					
		基準値	mm	1. 0	1. 0	1. 0	1. 0
		許容限度	mm	2. 0	2. 0	2. 0	2. 0
	圧砕ポイント (図 1-16 参照)	圧砕ポイント（A）					
		基準値	mm	160	160	163	163
		許容限度	mm	130	130	133	133
		圧砕ポイント（B）					
		基準値	mm	183	183	186	186
		許容限度	mm	163	163	166	166
		圧砕ポイント（C）					
		基準値	mm	90	90	93	93
		許容限度	mm	74	74	77	77
		圧砕ポイント（D）					
		基準寸法	mm	109	109	112	112
		許容限度	mm	93	93	96	96
		圧砕ポイント（E）					
		基準寸法	mm			130	130
		許容限度	mm			114	114
		圧砕ポイント（F）					
		基準寸法	mm	105	105	108	108
		許容限度	mm	85	85	88	88
		圧砕ポイント（G）					
		基準寸法	mm	171	190	171	196
		許容限度	mm	141	155	141	161

コンクリート小割圧砕具

OSC-200B	OSC-360A	OSC-500A					
1, 820	3, 160	4, 800					
18～25	30～45	40～100					
検 査 基 準 値							
30	30	30					
3	3	3					
1. 0	1. 0	1. 0					
2. 0	2. 0	2. 0					
163	207	221					
133	172	181					
186	240	266					
166	213	239					
108	122	146					
88	97	116					
108	147	182					
88	122	152					
	169	217					
	144	187					
108	137	166					
88	117	146					
195	215	310					
165	175	255					

1. 開閉シリンダー伸縮量の測定

- ①測定具を地面から浮かせた状態で垂直に保持し、アームを全開状態（シリンダー収縮）で行う。
- ②ショベルのエンジンを停止してからホース内の残圧を抜き、aのストップバルブを閉じる。
- ③L部の寸法測定を行い、3分間経過後に再度L部の寸法測定し、その差を伸縮量とする。

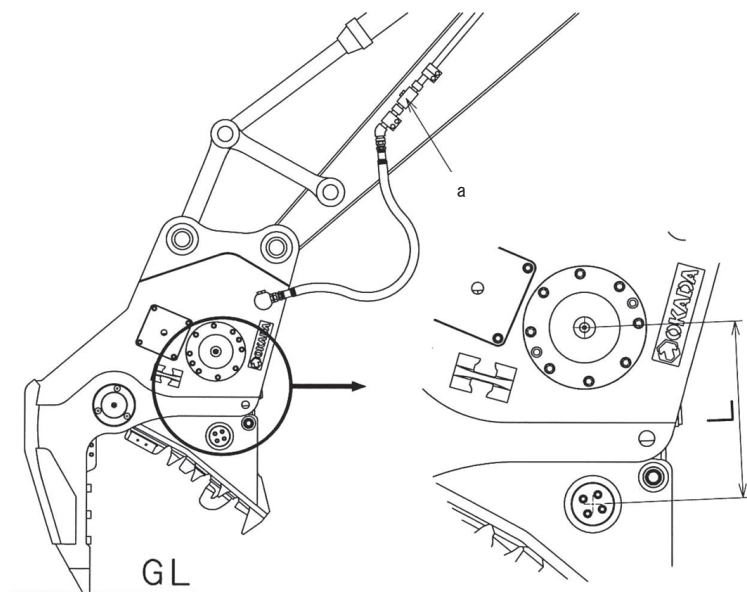


図 1-14 開閉シリンダーの伸縮量測定

2. カッターのすき間測定

- ①本体を地面から浮かせた状態で水平に保持し、アーム全開状態（シリンダー伸長）で測定する。
- ②すきまゲージによりB寸法を測定する。

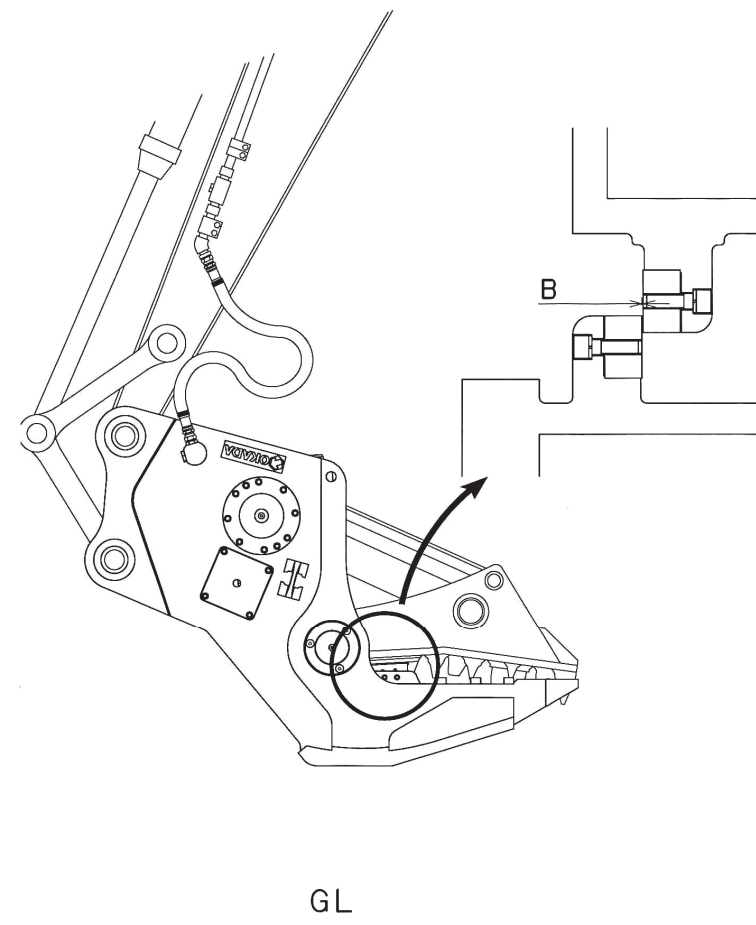


図 1-15 カッターのすき間測定

3. 圧砕ポイントのすき間測定

- ①アーム全開状態（シリンダー収縮）で検査を行う。
- ②各圧砕ポイントA～Gを計測する。

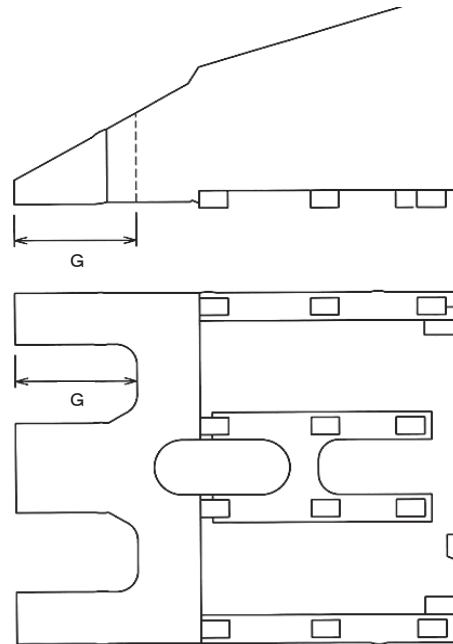


図 1-16 圧砕ポイントの測定

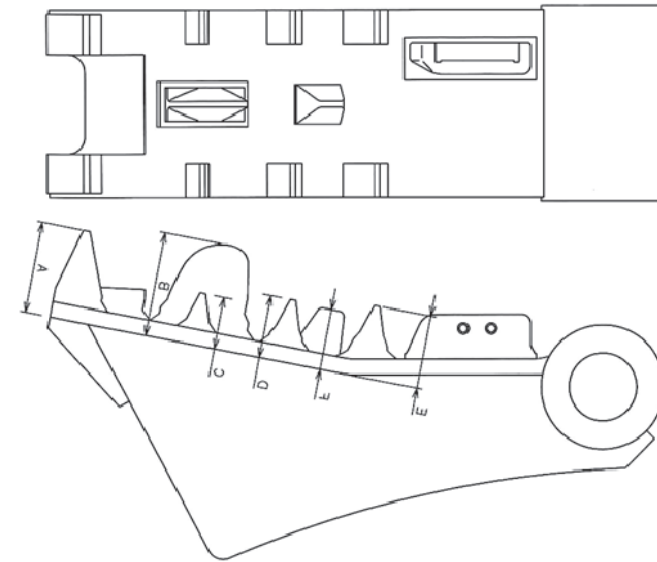


図 1-17 圧砕ポイントの測定